

和歌山県海草郡紀美野町

地区×学生による観光・文化・交流情報発信と棚田の再生



【地域の基礎データ】

人口：8,967人（平成30年9月末現在）

高齢化率：41.4%（平成27年1月1日現在）

産業：棕櫚製品製造業、農業 など

【活動の基本情報】

参加学生数：21名（1回生：6名、2回生：4名、3回生：6名、4回生：5名）

活動期間：平成30年4月～

担当教員：佐野楓

1. 活動実施の経緯

2017年度まで4年間に渡り、紀美野町の上神野地区で発動してきたこのLIPは、昨年度から地域を新たに紀美野町の小川地区で活動を進めてきた。本LIPは新しいメンバーを加えて、2019年6月に小川の郷づくり会さんと顔合わせをした後に、本格的に活動をスタートした。また、今年度からFacebook、InstagramとTwitterの3つのSNSを開設して、小川地区の魅力やLIPの活動状況などを積極的に発信していた。

2. 活動の内容

本LIPは2019年6月からほぼ毎月活動に取り組んできて来た。具体的には、6月に小川の郷づくり会さんと顔合わせ、活動を紹介した。7月に街歩きを実施した。9月に、冬まつり企画会議を開始し、より盛り上がるイベントの企画について小川地区の方と意見を交わした。また、小川小学校運動会に参加した。10月に、冬まつり企画会議を続いて、11月の生石山登山を実施し、風の森宿泊体験を行った。11月に生石山登山整備活動に参加し、12月の冬まつり企画会議を引き続き実施した。12月に小川の郷の冬まつりイルミネーション準備と冬まつり運営に携わってきた。

3. 活動を通じて

今年の本LIPは新たな試みを色々していた。例えば、小川地区の方々により顔と名前を覚えてもらうために、小川地区をモチーフにしたネームカードを作成した。本活動を通じて、小川地区の観光・文化などを発信できただけでなく、メンバー間の情報を共有したり、メンバーの親睦を深めたりすることもできた。

4. 成果物など

和歌山大学観光学部 紀美野町小川 LIP

ここが私の
アナザースカイ。

ここには載りきれない活動写真
真をスライドショーにまとめ
ました。QRコードから是非
ご覧ください！



【2019年度 活動内容】

- ・紀美野町小川地区の街歩き
- ・古民家を改修した「風の森」で宿泊体験
- ・生石高原登頂
- ・小川地区小学校運動会の運営
- ・登山道整備
- ・イルミネーションや竹灯籠の設置
- ・冬まつりの運営
- ・SNSでの情報発信

【活動目的】

冬まつりの企画・運営への参加や学生の視点での、生石高原を中心とした小川地区の観光客誘致・PR、活性化です。また、たくさん足を運んで小川地区のことを知り、「最高の魅力」を発見することも目標に掲げています。

小川の郷 冬まつり

何度も小川に行つて会議をしました。1回生はカラオケの司会をし、上回生は屋台運営と会場受付をしました。学生企画では子供達と触れ合うことができました。メインのイルミネーションは地区と学生が丸となって作り上げました。

普段は関わることでできない小川の方々とでありことができ、より小川が大好きになりました。

【主な活動場所】

- ・小川の直売所
第1・3日曜日に地元の産物が並ぶ小川の直売所。
- ・風の森
生石高原のふもとにある宿泊施設。車の往来が少ない集落にあるため静かな時間を過ごすことができます。
- ・小川小学校
地元の小学校で運動会や冬まつりなどたくさんの行事を行います。

生石高原

「風の森」という古民家に宿泊した翌日、生石山へ出発しました。急な坂道や滑りやすい道などたくさんの障害がありました。約3時間かかって生石高原に到着したときは、皆自然と笑顔になり、嬉しさや喜びがこみあげてきました。

山頂で食べたおにぎりの美味しさは特別な思い出になりました。

SNSでも待っています！

Twitter



Facebook



Instagram



紀美野町小川の郷づくり会